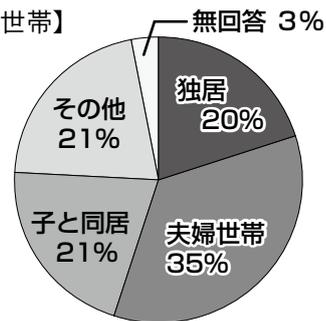


# 令和元年度高齢者ニーズ調査結果の概要第2報

日南町福祉保健課 地域包括支援センター

令和2年2月に実施した高齢者ニーズ調査の結果をまとめましたので第2報を報告します。この調査は第8期介護保険事業計画の基礎資料として、また高齢者の健康状況を把握し、必要な人に必要なサービスを速やかに利用していただくことを目的に実施しました。

【世帯】



【調査対象者】 65歳以上で要介護認定を受けていない人 1,926人

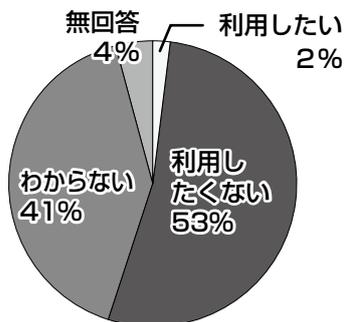
【回答者数】 1,536人

【回答率】 75.8% (男性 71.2% 女性 78.9%)

## 質問①【2～3年のうちに、管理人が常駐する食事付住宅があれば利用したいと思いますか】

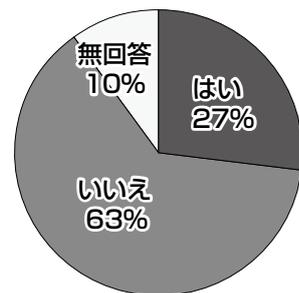
高齢になるほど「わからない」が減少し「利用したい」「利用したくない」が増加していました。全体で29人の利用希望がありました。

令和元年12月に町内初の有料老人ホームが開設され、現在まで実利用人数12人の入居がありました。



## 質問④【自分の最期のむかえ方を親族等に伝えてありますか】

高齢になるほど「親族等に伝えている」方が増加していました。また、質問③と関連し「自分の最期のむかえ方を考えている人のうち、親族等には伝えていない」方が約20%という結果でした。

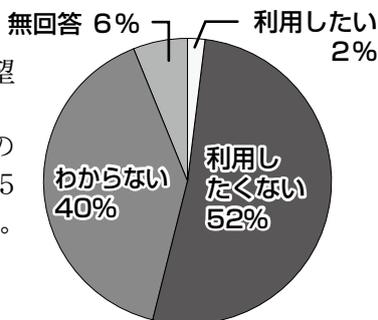


現在、医療や介護において様々な選択をすることができます。人生において大切にしていることや望んでいることなど、自分らしい選択をするために、事前に考えておくことや親族など信頼する人たちと共有することが必要です。

## 質問②【2～3年のうちに、町営の高齢者賃貸住宅（霞地区、なごみの里）を利用したいと思いますか】

全体で33人の利用希望がありました。

平成14年度になごみの里が開設されて以来、35世帯の入居がありました。



## 質問⑤【将来、要介護状態となった時に生活をどこでどのように送りたいとお考えですか】

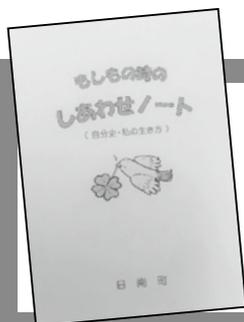
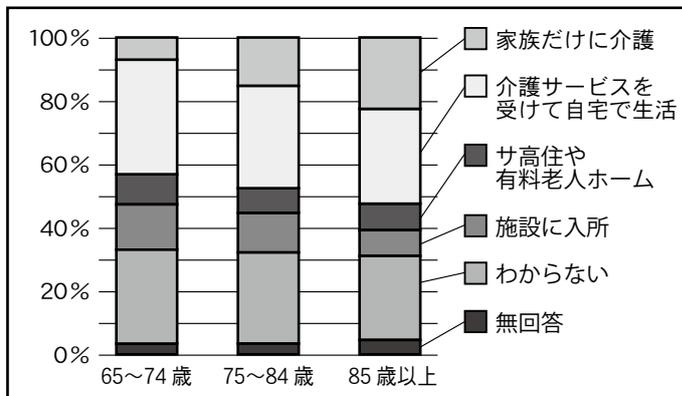
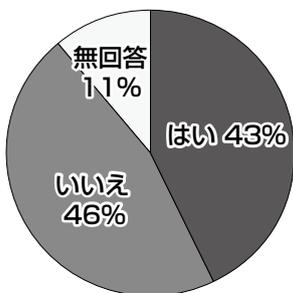
「家族だけに介護してもらい自宅で生活したい」と「介護サービスを受けながら自宅で生活したい」を合わせ、40%以上の方が要介護状態になった時、「自宅で生活したい」という結果でした。

高齢になるほど「家族だけに介護してもらい自宅で生活したい」という方が増加していました。

## 質問③【自分の最期のむかえ方を考えていますか】

どの年代においても約40%の方が「自分の最期のむかえ方を考えている」という結果でした。

年齢や男女間での差はほとんど見られませんでした。



【もしもの時のしあわせノート】 お問い合わせ 日南町地域包括支援センター TEL : 82-0374

もしもの時に自分の意思を尊重してもらうために、事前に相談しておきたい内容を記入できる「もしもの時のしあわせノート」を希望者に無料配布しています。内容は「私と家族」「医療と健康」「葬儀とお墓」「遺言と相続」などです。自身で記入するだけでなく、家族と話し合うきっかけとして活用してみませんか。

